附件4

中华全国日语演讲比赛预赛评审办法

一、预赛由命题演讲和即席演讲两部分构成，所有选手的命题演讲结束后进行即席演讲。选手命题演讲和即席演讲的出场顺序分别采取抽签方式决定。

二、命题演讲的题目由大赛组织委员会研究决定，提前公布。即席演讲的题目由在即席演讲比赛开始前召开的各赛区评委会研究决定。选手即席演讲的题目以抽签方式确定，每位选手抽签后准备10分钟。即席演讲的题目可采取数签同题。

三、每位选手的命题演讲时间为5分钟，即席演讲时间为3分钟。命题演讲时间不足4分钟或超过5分零5秒的选手得分扣除1分；即席演讲时间不足2分钟或者超过3分零5秒的选手得分扣除1分。扣分方式及标准由各校预选组委会商定。

四、演讲时间，从选手站在讲台上发出第一声时开始计算。命题演讲时间达到4分钟时，组委会工作人员按铃一次，提示选手演讲时间还有1分钟，达到5分钟时按铃两次，提示选手演讲时间到，超过30秒后，连续按铃直至选手停止演讲；即席演讲时间达到2分钟时，组委会工作人员按铃一次，达到3分钟时按铃两次，提示选手演讲时间到，超过30秒后，连续按铃直至选手停止演讲。

五、演讲时不允许选手看任何文字材料，演讲内容不得涉及选手所在学校和本人姓名，对违反规定的选手扣除相应分数。

六、命题演讲和即席演讲的评分标准均分为语音语调、语法词汇、内容结构和表达能力四大项。各项标准具体为：

1、语音语调：发音准确，口齿清晰，清浊音，长短音，拗音，促音等；语调正确

2、语法词汇：词语搭配，词义；助词，助动词，接续词，时态，用言，体言接续等，被动态，使役态等

3、内容结构：切题，可信度，逻辑性

4、表达能力：敬语，谦逊语；感召力，渲染力，表现力，仪表态度等

七、命题演讲和即席演讲的总分值为100分，其中命题演讲的分值为50分，即席演讲的分值为50分。

评分标准四项标准在命题演讲和即席演讲中的分值分别为10、10、20和10分。

八、评委打分可精确到0.5分。计算选手的得分时，去掉一个最高分和一个最低分，其他评委的平均分即为命题演讲和即席演讲的得分。选手的最后得分为上述命题演讲得分和即席演讲得分之和。若选手总分相同，即席演讲分数高者名次靠前。

九、评委打分表（命题演讲和即席演讲）在比赛前四位选手演讲结束后统一回收一次，从第五位选手开始逐一回收。打分表（命题演讲和即席演讲）需评委和计分员签字，得分汇总表（命题演讲、即席演讲成绩和最终得分汇总表）需评审委员会主任、副主任以及计分员、计时员签字。

十、命题演讲得分汇总表、即席演讲得分汇总表和最终得分汇总表在预赛结束后将原件交比赛组委会留存。

十一、预赛总评环节，请评委会主任、评委会副主任分别总结发言，要求使用日语。

即席演讲评分注意事项

1. 评委会二次会议时，请每位专家评委视参赛人数设计5-6道相关问答题目，如参赛人数较多，可根据参赛人数，设计问题数量适当上浮。最好问题数超过参赛人数3个左右。因选手不在现场隔离间，考虑每人一题，用过的题不再重复。

2. 与去年相同，选手没有10分钟的准备时间，听完题目后在10秒中之内开始作答。

**中華全国日本語スピーチコンテスト予選の審査方法**

一、当コンテストの予選はテーマスピーチと即席スピーチの二部分からなる。すべての選手のテーマスピーチが終了した後、即席スピーチが行われる。テーマスピーチと即席スピーチにおける選手の出場順序はそれぞれの抽選で決められる。

二、テーマスピーチのテーマは大会組織委員会が決定し、事前に公布する。即席スピーチのテーマは即席スピーチのテーマの前に行われる審査委員会会議で研究・決定される。選手の即席スピーチのテーマは抽選で決められ、選手は抽選した後、1０分の準備時間を与えられる。

三、テーマスピーチと即席スピーチの時間はそれぞれ５分と3分とされる。テーマスピーチの際、４分足りない又は、５分５秒を超過する場合、１点減点される。即席スピーチの際、2分足りない又は、3分５秒を超過する場合、１点減点される。

四、選手が演台に立って初めて発声する時から時間は計りはじめられる。テーマスピーチの際、後１分時間だと選手に知らせるよう、４分の時にベルが一回鳴らされる、5分の時にベルが二回鳴らされる、30秒を過ぎた場合、選手がスピーチを終了するまでベルが続けて鳴らされる。

即席スピーチの際、2分の時にベルが一回鳴らされる、3分の時にベルが二回鳴らされる、30秒を過ぎた場合、選手がスピーチを終了するまでベルが続けて鳴らされる。

五、選手がスピーチをする時、いかなる資料を見てはいけない。また、スピーチの内容は選手の所属する学校や本人の名前に触れてはいけない。これを違反する選手は減点される。

六、テーマスピーチと即席スピーチの審査基準は発音・イントネーション、文法・語彙、内容・構成と表現能力の四項目である。各項目の詳細は次のとおりである。

1、発音・イントネーションは、発音の正確さ、つきれいで濁らないか、清音・濁音，長短音、促音、拗音などの区別、アクセント、イントネーション、リズムなど

2、文法・語彙は、言葉の組み合わせの妥当性、言葉の意味や使い分け、助詞、助動詞、接続詞、用言と体言の接続、テンス、アスペクト、ボイスなど

3、内容・構成はテーマにぴったりかどうか、信憑性、真実性、モチベーション、論理性など

4、表現能力は敬語、丁寧語、謙譲語などの使用、説得力、パフォーマンス、表現力、礼儀正しいかなど

七、テーマスピーチの満点は50点、即席スピーチの満点は50点とされ、最終得点の満点は100点とされる。審査基準の四項目の配点はテーマスピーチと即席スピーチにおいて、それぞれ10点、10点、20点と10点とされる。

八、審査員の採点の最小単位は0.5までとされる。選手のテーマスピーチと即席スピーチの得点は、最高と最低の点数をそれぞれ取られ、残りの審査員の採点の平均値とされる。選手の最終得点はテーマスピーチと即席スピーチの得点の和とされる。最終得点が同じな場合、即席スピーチの高い選手が上位とされる。

九、採点表(Form1,2)は最初の４人の選手がスピーチを終了した後回収され、５番目の選手以降一人ずつ回収される。採点表(Form1,2)に審査員と点数集計員の署名が必要とされる。得点計算表(Form3,4)と最終得点表(Form5)に審査委員長、副委員長と点数集計員及び時間測定員の署名が必要とされる。

十、テーマスピーチ及び即席スピーチの得点計算表(Form3,4)と最終得点表(Form5)の原本は、予選終了後、大会組織委員会で保管される。

十一、審査委員長、副委員長はそれぞれ日本語で総評します。

评审办法日文缩编版

（用于评委会主任现场介绍）

* 当コンテストの予選はテーマスピーチと即席スピーチの二部分からなる。すべての選手のテーマスピーチが終了した後、即席スピーチが行われる。テーマスピーチと即席スピーチにおける選手の出場順序はそれぞれの抽選で決められる。
* 即席スピーチのテーマは審査委員会会議で研究・決定され、選手のテーマは抽選で決められる。選手は抽選した後、1０分の準備時間を与えられる。
* テーマスピーチと即席スピーチの時間はそれぞれ５分と3分とされる。テーマスピーチの際、４分足りない又は、５分5秒を超過する場合、１点減点される。即席スピーチの際、2分足りない又は、3分5秒を超過する場合、１点減点される。
* 選手がスピーチをする時、いかなる資料を見てはいけない。また、スピーチの内容は選手の所属する学校や本人の名前に触れてはいけない。違反する選手は減点される。
* テーマスピーチと即席スピーチの審査基準は発音・イントネーション、文法・語彙、内容・構成と表現能力の四項目である。
* テーマスピーチの満点は50点、即席スピーチの満点は50点とされ、最終得点の満点は100点とされる。審査基準の四項目の配点はテーマスピーチと即席スピーチにおいて、それぞれ10点、10点、20点と10点とされる。
* 選手のテーマスピーチと即席スピーチの得点は、最高と最低の点数をそれぞれ取られ、残りの審査員の採点の平均値とされる。選手の最終得点はテーマスピーチと即席スピーチの得点の和とされる。最終得点が同じな場合、即席スピーチの高い選手が上位とされる。